

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
 電話 44-3006
 FAX 44-3020

第65回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクール

大宜味中2年 平良日菜多さん、最優秀賞に輝く!!

9月11日（月）から応募が始まった第65回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクールにおいて、大宜味中学校2年生の平良日菜多さんが作文（韻文 詩）の部門で見事最優秀賞に選ばれました。

これまで65回の歴史を数えるコンクールでもあり、作文（韻文 詩）の中学2年生の部では県内全域から73点の作品が集まる中、唯一の最優秀作品となりました。

日菜多さんは「担当の先生から報告を受けたときはとても嬉しかった。まさか賞をもらえるとは思っていなかったのでビックリです」と話してくれました。

日菜多さんの想像豊かな発想力がこのような賞につながったと思います。

これに続き、無限の可能性を秘めた大宜味の児童生徒たちが、どんどん活躍してくれることを今後も期待します。



受賞作品紹介

「命の証」

平良日菜多

命を示すものって何でしょう？

心臓？

感情？

いいえ「名前」です。

一人に一つ、大切な人からもらった名前。

私だけの名前。

命が喜ぶ時っていつでしょう？

好きなことをする時？

ご飯を食べる時？

いいえ「名前」を呼ばれた時。

生まれて初めてもらった大きなプレゼント。

私だけの名前。

私だけの名前。

命が誕生した時に、私が存在するという証。

私と同じ年で、いつも一緒。

私の大切な親友。

命の証。

私だけの名前。

これからもずっと大切にされるね。

第44回おおぎみ展開催

11月2日（木）～4日（土）に第44回おおぎみ展が開催されました。

村内外から絵画、書道、陶芸などの一般部門、各学校や老人会、デイサービスなどの団体部門、約650点の作品が集まりました。また3日間で約500名の来場者がありました。より多くの方が芸術性溢れる作品に出会えたのではないかと思います。

また3日（金）には芸術講座、4日（土）には沖縄県立図書館の移動図書館も同じ会場で行なわれ、多くの人で賑わいました。



芸術講座では紅形のきれいな色と模様で描かれた絵本「やどかりの夢」の読み聞かせとコースターやバックなどを作成できる紅形ワークショップが開かれました。

読み聞かせではやどかり一座による楽器や歌の生演奏をまじえた読み聞かせが行われ、終盤には会場全体でりやどかり音頭を踊って盛り上がりました。紅形ワークショップではそれぞれ特徴のあるコースターなどを作成し、楽しい芸術講座となりました。



練習の成果！大中学生の大活躍！ 第59回沖縄県中学陸上競技大会で好成績

10月21日（土）に沖縄県総合運動公園内陸上競技場で行われた第59回沖縄県中学陸上競技大会において、大宜味中学校2年生の外園華音さんが女子2年4×100mリレーに参加し、53秒12という見事な記録で県大会優勝を果しました。



外園華音さん

平良悠翔くん

宮城梨琉さん

また、本大会には中学2年生の平良悠翔くんと中学1年生の宮城梨琉さんも選手として参加しており、平良悠翔くんが男子2年4×100mリレーで47秒51のタイムで6位入賞、宮城梨琉さんが女子1年4×100mリレーで55秒45のタイムで惜しくも4位となりました。3選手とも郡代表での選出であり、力走を繰り広げていました。

個性光る作品の数々、親子でふれる芸術の秋 大宜味小親子ふれあいきらめき体験学習

11月26日、大宜味小学校において親子ふれあいきらめき体験学習（ものづくり）が行われました。

村内のていぐまの方や県立芸術大学の柳先生を始めとする様々な芸術に富んだ先生方、琉球大学の仲間先生を招き、各学年に分かれて親子で芸術の秋を楽しみました。

デザインから親子で考え、陶芸で箸置きに挑戦した1年生。スタッピングやステンシルで個性豊かな絵を描いた2年生。3年生は石膏でリアルな自分の手を作りました。4年生は簡単な腰機ながら、本格的な織物に挑戦。5年生は長寿食として豆や豆苗の入ったヘルシーなクッキー作り、6年生はバショウとシークワサーを使った卒業証書づくりをしました。

どの学年も賑やかで親子で楽しみながら、協力しながら世界で1つだけの作品を作ることができました。



***** 沖縄県立移動図書館開催！ *****

11月4日（土）、沖縄県立図書館からたくさんの本を持って大宜味村へやってきました。

例年改善センターで開催されてきた移動図書館ですが、今回は旧大宜味小学校多目的教室へと会場を移しおおぎみ展と同日開催となりました。展示会場での貸し出しやおおぎみ展にあわせた図書も多数そろえての開催となり、例年以上の来場者数となりました。

当日は本の読み聞かせも行なわれ会場内をあたたかい空気がつつみました。

今年も無事に終了した移動図書館ですが、本を返すまでが移動図書館です。村民のみなさん。本の返却忘れがないようによくお願いいたします。



苦労話から、笑い話まで自然に使う島言葉 生涯学習 ちかーていんましまふとうば④



11月21日（火）、役場第2会議室（旧大宜味小学校理科室）においてぶながやの里生涯学習講座「ちかーていんましまふとうば④」が行われました。

芋の豊作を感謝し、来年の豊作を祈願して毎年旧暦11月の最初の「つちのと」（※大保ではつちのえ）に行われる「ウンネー」の行事。田港ノロ管轄の塩屋港内の4カ字ではノロを始めハミンチュ（神人）の皆さんが芋をお供えして祈願する行事を執り行っています。各家庭ではウムニーを作り、仏壇に供えており、今回はその「ウムニー」をテーマにゆんたくが始まりました。

芋ともち粉を一緒に炊き、潰して作るウムニー。芋ともちは棒で潰して混ぜますが、きれいに混ぜられなかったり、芋の塊が残って滑かにならなかったり、大変な作業なのに昔の人は上手に作っていたことや、潰す棒も竹を使ったり、サンニンの茎（香りを出すため）を使ったり地域で違いがあったこと、美味しい芋の見分け方まで、話は盛り上がり、あっという間に時間が過ぎていきました。

1つのテーマで話は広がり、講座と言うよりゆんたく会のような集まりですが、ユンタクの中で自然と島言葉が使われ、無理なく楽しく島言葉を学べる（話せる、聞ける）会になりました。2月18日（218ふとうばに合わせ）には島言葉を使った催し物も考案中です。

興味のある方は、教育委員会までご連絡ください。



ウイバル民謡同好会

たかし&だいご



森川古典音楽教室

琴修会 北支部

初出場の大嶺さん



玉城琉七扇多恵の会

こもれび music ♪



初出場の仲宗根さん

日本舞踊西川楚多華道場

たくさんの方が見に来てくれました♪

第22回しまんちゅ芸能

去った11月5日（日）に第22回しまんちゅ芸能が行なわれました。

民謡、琉球舞踊、日本舞踊、大正琴、ピアノ、フラダンスなどさまざまなジャンルから全11団体が参加していただきました。新しく参加していただいた方もおり、新しい風が吹いてきたのではないかと感じています。民泊の高校生も大勢来ていただき、100名以上の観客ありました。

深読み大宜味村史 10 塩屋 2

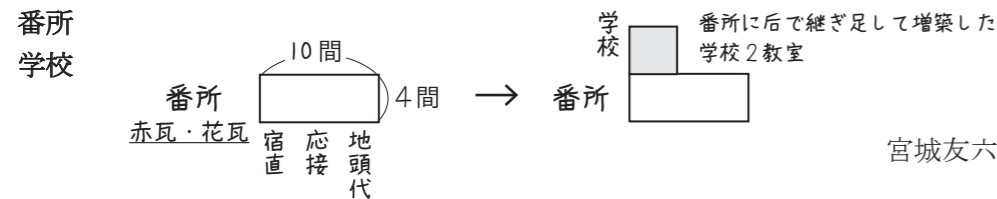
既存の大宜味村史は昭和 42（1967）年に村史編集委員会が発足し、委員長宮里金次郎、委員に山川元康、大山茂一、宮城福市、親川富二、宮城倉栄、宮城倉啓、大嶺福一、大城真秀、編集担当として山川岩美（編集責任者）、金城功、宮城長信、大城将保、平良幸七（写真）の諸先輩方によって編まれ、12年の歳月をかけて昭和 53（1978）年に資料編、同 54（1979）年に通史が発刊されている。

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料をひもといてみると、本文では削られた部分がほとんどであるが、興味深いものが沢山あり、この紙面で順次紹介している。なお、当時の言い回しや仮名づかいに味わいがあるので出来るだけ原文通りとし、判読不能の文字は□に置き換え必要に応じて（）内に捕捉を加えた。

『村史編集資料 各字の資料』山川元康ノート 1967年8月18日より

製糖 牛車 ダチ川 金車であった 水車2台

大正7年62円最高であった（砂糖樽1挺：約90kg弱の価格）※大正15年国家公務員初任給75円



升取屋 3倉庫 原米を集めて非常用として備蓄米

村中の分を集めて塩屋よりハーリー舟で運天へ搬んだ

シノブン 8月に1回で徴収1年分 終えたらパーリ（パール）でお祝した

札貫シン タンカールーシで御祝 戸主 肉を入れて

山御願 パーリ組 早くて5日10日もかかった

漁業 引き網 マーニか黒ガールで綱をつくった 新城牛助 親細工ヤ マーウーで綱をつくった

追網（玉井）宮城文七 明治40年 宮城初助 東村有銘高江 今帰仁具志堅 国頭与那

農業用部落 3分の2 漁業用 4そう5そう 計10そう

渡野喜屋（※渡し）家ごと交代であったが后で補助金が出たので個人でやった

大保の道路 昭和6年 兼次佐一 県道筋つくった 長沢技師 男40才

糸満売い 18～21才・30円 8～21才・60円

日ん間（ピンマ）2円で1日 働く人15年 女6年 1円（50貫）—1日

ジンナヒ 水が湧く所で クミンキ田とも言はれる 美やらびが通ったのでみんな手を休ませたのでその罪で

田んぼへ押し込まれたと言はれる

オランダ（ペリー調査隊）旧正月前の豚を殺す日に来て本船は運天に投錨して新里に駐屯して1ヶ月。

40人位舟を反対漕ぎして来たので部落民は山へ逃げた。オランダが帰ってからお正月もした。

洗濯もダチ川でやっていた。女はみんな逃げた。手を払って胸を叩いた。□□した鶏を皆んなお金で支払はれた

ファージの石 ファージの石—米国の博物館に保存

ファージの石 山川ヤ 餓死（飢饉）の時、米を献金した謝禮として与えられた。

寅年でここからは何も取らなかった

猪垣 山川塩屋 喜如嘉高原 饒波

猪垣を修理した。各戸に区域を割当てこわれたら修理を命じた

番所 伝統的な番所は移転させてはならないと反対した。平良保一、親泊校長2人で押えて居ったが保一死亡により平良眞順3日毎の会合で青年は組をつくって番をして居った。

下方皆んな番所で集まった 番所を包囲 区事務所

移民 明治40年 宮城熊七他13人

ペルー 新城—生残る／メキシコ5、6人 2、3ヶ所／マニラ ペンゲット道路6、7人

ブラジル 第1回 1人

ダチ川坊主 戀し屋古田港 志情ゆかきて いちゃし塩屋港 渡て行ちゅが

まこと名に立ちゆる 塩屋の番所 中山こさて 港前なち

日ろ戦争 内間由光 島袋己之吉

樟脳製造 徳田入太郎 白石 木を払下げて樟脳製造した

野元 朝稲早苗 明治30年頃



村史編さんだより

第80号 2017年12月1日 大宜味村村史編纂係 44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

「大宜味村史 民俗編」第一回専門部会開催



～委嘱状交付の様子～

「民俗編」専門部会

（部会長）仲原弘哲 （副部会長）前田國男

（部会員）当山昌直 安座間安史 平良次子

11月1日（水）「大宜味村史 民俗編」第1回専門部会が開催されました。はじめに米須編纂委員長から各委員への委嘱状交付が行われ、引き続き部会長、副部会長の選定を行い上記の通り決定しました。

議事では、「民俗編」の進捗状況の報告を事務局が行い、それを受けて構成及び内容の詳細確認、今後の作業予定、発刊計画など委員による細かい話し合いが行われました。専門部会員の皆様は実際に県史や市町村史の編集業務に携わっておられる方が多く、内容に関する指導だけでなく、複数で作業をする場合のデータ管理の方法や便利な編集ソフトの具体的な操作方法など、実際の事例を挙げてすぐに役立つ知識やコツなどをたくさん授けてくださり、事務局にとっては本当に心強い存在です。

年度末まで残り少ない時期ですが、今年度発刊に向けて頑張ろう！と身が引き締まる思いでした。

30年度は「ことば編」、31年度は「人と自然編」とまだまだ発行計画が続いていきますので、日々情報収集、資料収集に心がけ作業を進めていきたいと思えます。

第13回やんばる学研究会第二回研修会参加報告

「深く掘れ 己の胸中の泉 餘所たよて 水や汲まぬごとに（伊波普猷）」を座右の銘として、山原を深く掘り下げ、様々なテーマで熱く楽しく学び合うことで、山原の魅力を再発見するという趣旨のもと、平成23年から山原各地を回り活動を展開しているやんばる学研究会（仲原弘哲会長）の今年度第二回となる研修会が、11月26日（土）東村立山と水の生活博物館で開催され、われわれ村史職員も会員として参加しました。

研修会では東村の元職員・中村保氏による講演があり、「東村の博物館や村史づくりに関わって」と題して、昭和62年までに全3巻を発刊した東村史づくりの思い出や苦労話、博物館の開館に向けての展示資料集めや展示品製作の経緯など、興味深いお話に加え、自他ともに認める山の申し子中村氏の自然や生き物を見つめる深いまなざしが印象的でした。

次に、崎浜靖氏「本部町嘉津宇における村落景観の特性」、宮城邦昌氏「山原に残るユンヌ（与論）地名と生活痕跡について」、宮里ひな子氏「津嘉山酒造所の修理事業について」の研究発表がなされ、「深く掘れ」ば、まだまだ尽きることのない山原の文化・歴史の奥深さに触れた豊かな時間でした。

やんばる写真展2017巡回展 12月5日（火）～26日（火）旧庁舎内



「しまふとうば」ぬくとう 22



うみがーみー

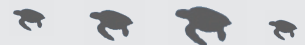
「みーまーり」

11月8～10日に大宜味小5年生と北大東村（島）へ行ってきた。島の周囲が石灰岩の絶壁で囲まれ砂浜のない北大東島で子供たちは大変貴重な体験をしたと思う。

2日目の夜は「大宜味村会」の皆さんと交流を兼ねた夕食会であった。交流会の後、私は「大宜味村会」の皆さんと二次会、三次会で交流を深めた。北大東島には大正時代以降に大宜味村から多くの人が仕事を求めて移住している。戦後に「大宜味村会」を結成して年に数回の活動（行事）を行っているという。「大宜味村会」以外にも幾つかの「・・・村会」があったらしいが現在はないとのことであった。

「大宜味村会」の大きな行事はウングミの日に皆が集まって大宜味村の方角に祈りを捧げるということ。そして翌週あたりに再度集まって盛大に「みーまーり」のお祝いをするそうである。

「みーまーり → 新生り」この一年間に生まれた子供の成長を祈って皆で祝う行事であるが、大宜味村の多くの地域でも三月三日やあぶしばーれーの時にやっている。故郷を離れても故郷の行事を離れた地で継続していることに感激した。シマの古い言葉や行事等は案外離れた地に残っているのかもしれない、との以前からの思いを強くした。「大宜味村会」は来年には結成70周年を迎えるとのこと。節目の事業を計画中とのことであった。北大東村に縁のある皆さん！、来年は北大東村に皆で行って「大宜味村会」の皆さんと交流を深めましょう。



ちなみに北大東村の宮城村長は両親が大宜味村出身、鬼塚副村長と仲嶺教育長の2人の奥様も両親が大宜味村出身で、島の生活を守る港湾と電力の責任者も大宜味関係者とのことである。

はきさみよーなーなー。大宜味ん人やちびらーはぬ。

今月の生きもの




ヤンバルマイマイ：ナンバンマイマイ科

ど〜も〜、こんばんは〜。私、ヤンバルマイマイです。

イタジイの森にすむカタツムリで、殻は35mm以上もある大きなカタツムリです。私たちは落ち葉や枯葉などを食べて糞として出すことで、森の表土を作っています。表土は植物たちの栄養になるほか、雨水を一時的に蓄えたり、赤土が雨に浸食されて川に流れ出ることを防いだりします。私たち自身もヤンバルクイナやヘビやカエルの餌にもなるし、決して目立つような生きものではないけれど森の生態系には欠かせない一員なんです。

12月の行事予定

- | | | |
|-------------------------|---|-------------------------------|
| 1日（金）区長会 | | 13日（水）「体験の翼」訪問事前学習会① |
| 2日（土）わんぱく体験団⑤ ～3日 | | 16日（土）生活発表会（喜如嘉保育所） |
| 3日（日）こもれびmusic ピアノコンサート | | 17日（日）チャリティークリスマスコンサートin 大宜味村 |
| 8日（金）生活発表会（幼稚園） | 12月11日 | 20日（水）交通安全シークワサー作戦 |
| 9日（土）生活発表会（塩屋保育所） |  | 22日（金）二学期終業式（幼小中） |
| 10日（日）村成人スポーツ大会 | 百円玉の日 | お楽しみ会（喜如嘉保育所） |
| 県立芸術大学移動大学 in おおぎみ | | 23日（土）天皇誕生日 |
| | | 28日（木）官公庁仕事納め |